

高崎ロータリークラブ



No. 17



事務局・例会場：高崎ビューホテル 高崎市柳川町 70

TEL 027-327-2888 FAX 027-327-2887

創立：1954年3月30日 例会日：毎週月曜日 12:10～13:10

会長：田中 久夫 幹事：広瀬 雅美 SAA：深堀 達義

公共イメージ(クラブ広報)委員会：岡本謙一 茂木 節夫 吉田吉太郎

高崎・南・北・セントラル合同夜間例会



高崎セントラルロータリークラブ 飯嶋会長挨拶



高崎ロータリークラブ 田中会長挨拶



高崎南ロータリークラブ



フルートの三重奏
情熱大陸などを演奏し、盛り上げました。



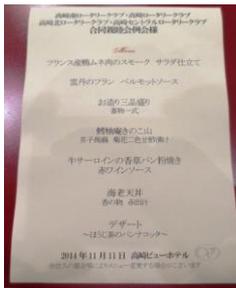
高崎北ロータリークラブ



万歳三唱にて締め



手に手つないでを全員で合掌



●11月12日(水)ロータリー情報委員会による家庭集会が行われました。本田博己直前ガバナーをお招きし、講和をいただきました。ロータリーの歴史から、ロータリアンとしての使命、行動指針等、非常に分かりやすくご説明いただきました。第二部では、各テーブルに別れ、パスト会長を中心に相談会及び懇親会が行われました。



日本のロータリー

1920年10月 東京ロータリークラブ誕生 (大正9年) 初代会長 米山 梅吉 (1923年9月 13 号 認定 No.855)

1923年 9月 関東大震災発生

1923年 9月 世界各地の303のRCより総額 8万5,800ドルの義捐金・救済物資が届く。これをもとに東京RCは大規模な社会奉仕活動を実施。日本のロータリアンが「ロータリー」の力を認識し、発展を目指すきっかけとなった。

ロータリー・モットー(標語)

① "Service Above Self"
「超我の奉仕」(第1標語)
→ サービス第一、自己第二 自己に先立つサービス

② "He Profits Most Who Serves Best"
「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」(第2標語)
→ 最善のサービスすれば、結果として最大の利益が得られる

松下電器産業綱領

「富利と社会正義の調和に念慮し、国家産業の発展を期し、社会生活の改善と向上を期す」

松下幸之助さんのCSR論 1980

「企業の社会的責任」とは、

- ① 企業の本来の事業を通じて、社会生活の向上、人びとの幸せに貢献していくこと。
- ② その事業活動から適正な利益を生み出し、それらいろいろな形で国家社会に還元していくこと。
- ③ そうした企業活動の過程が、社会と調和したものでなくてはならないこと。

